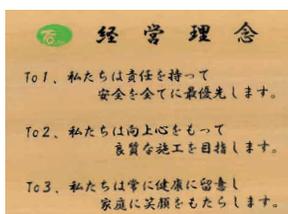


【協力会社紹介】株式会社東部建設

当社は平成19年11月22日に大湊線トンネル衝撃事故を発生させて以来、当時の経営理念から、現場にあった経営理念に見直しました。現場では現在の経営理念に基づき、日々『安全最優先』で、『施工品質の良い成果物』を発注者様へ提供できるように心がけております。



《青森作業所新築移転》

当社の青森作業所は、平成14年4月1日の発足から仙建工業(株)青森営業所様の事務所の一部を借用し業務を行ってまいりましたが、平成30年12月5日に青森作業所 新社屋が完成し、移転しました。事務所から車で2〜3分程の距離に縄文遺跡で有名な三内丸山遺跡があり、この地域は、一般住民が居住することができない地域となっています。夜間業務が多い我々としては道具の積卸しに出る騒音を気にしなくても準備・片付けができる、最高の環境となっております。



また野辺地作業所においても、従業員が増員したことに伴い、仙建工業(株)様から借用していた旧野辺地出張所事務所から、斜め向かいにある国鉄時代の野辺地保線区事務所(現在、青い森鉄道(株)様所有)内に移転し、業務を行っております。

《安全大会》



令和元年7月8日に青森県東北町の『青森原燃テクノロジーセンター』にて第19回目の安全大会を実施しました。当社で発生させた重大事故である大湊線トンネル衝撃事故は、当社の会社風土を大きく変えるきっかけとなった事故であり、発生から12年が経過しましたが風化しないよう振り返りを行っております。

事故後に入社した従業員が全体の半数以上となり、事故を起こすとどうなるか再現ビデオや当時の事故情報からグループ討議を行い、二度と同じ過ちを発生させないように安全意識の高揚を図っております。実設訓練では、『線路立ち入り時のケジメ』の訓練やリース会社の整備担当者様よりクレーンの異常時における取扱いのご

指導、また、普段体感することがない墜落制止器具を使用したぶら下がり体感を取り入れました。その際に、腰ベルトタイプとフルハーネスタイプの2種類を使用し、ぶら下がった時に体にかかる負荷を実際に体感し比較しました。(万が一現場の高所から落下した場合は、ぶら下がった時以上に体に負荷がかかることも指導)



《「基本動作と線路に入る際のケジメ成果発表会」全社大会》

2018年度は野辺地作業所と仙建野辺地出張所の合同チームで出場し、金賞を受賞。2019年度は青森作業所単独で出場し、銅賞を受賞しました。



○職場のホープ 赤田 新(あかだ あらた)25歳

高校時代にラグビーをやっていたこともあり、パワーと体力が人一倍あります。現場ではビーターを振ると碎石がよく飛ぶので、赤田の周りから誰もいなくなります(笑)そんな赤田ですが、来年度はMCや軌作責の資格取得に挑戦するため、取得後の活躍に期待しております。



《鉄道経験》3年4か月 《抱負》これからもルールを守り、無事故で頑張ります 《特技》ラグビー 《趣味》ドライブ、釣り 《夢》宇宙一周?

○職場のホープ 細川 公嗣(ほそかわ こうじ)36歳

前職が大工ということもあり、事務所移転においては道具置き場の棚等の製作に大活躍。鉄道経験はまだ浅いですが、頼まれた作業を確実に丁寧に対応してくれます。これから経験を積んでさらに活躍していくことを期待しております。



《鉄道経験》1年2か月 《抱負》安全第一を心掛けて、何事にも全力で取組みます 《特技》DIY 《趣味》魚釣り 《夢》豪華客船で世界1周旅行